

声

業界の



● 一般社団法人山梨県鉄構溶接協会

会長 中出英三氏

業界3団体を統合

鉄骨工事業者の団体として活動してきた(株)山梨県鉄構工業会・(株)山梨県鉄構協会と溶接に関係する事業者団体であった(株)日本溶接業協会山梨県支部は先人小宮山要一・飯田章雄様らの指導のもと設立され発展してきたが、時の流れの中で統合集約による合理化を決意し3組織を統合して、平成24年4月より一般社団法人山梨県鉄構溶接協会として再出発しました。

めまぐるしく変わる経営環境に対応するためには、組織をスリム化する必要がありました。組織統合の取り組みは、3団体の構成員や役員の多くが重複していたこともあって、無事に統合を実現することができました。

県内高校生のものづくり訓練支援

高校生が参加する関東高校生溶接競技大会のために、会員企業全社が無償で各高校に練習用の材料を提供するなどして訓練を支援しています。関東大会で毎年上位入賞をしていましたが、昨年度は優勝の栄を果たしました。

訓練の支援をした高校生が必ずしも我々の協会会員企業に就職するわけではありませんが、「就職後の仕事に溶接と訓練方法の知識を生かすことができれば良いのであって、鉄を少しでも知った若者が山梨県内に増えれば良い」という視点から、これからも高校生育成支援に取り組んでいきます。

仲間の和

鉄骨工事事業者間では「山積み共有」という取り組みを行っています。これは、受注状況情報の共有し仕事の山谷調整を仲間の会員同士で協力することで、各社の工場稼働率を平準化するための取り組みです。これにより同業者間の仲間意識の醸成と技術力の向上効果が進んだと思います。

ものづくりと未来

「人は石垣、人は城」、甲斐の国は人を育てる事を信念とする国です。

本会は組織として常に新しい取り組みむべき最先端の課題を見つけて、それを通年の目標として常に取組んで来ました。新技術情報に関する勉強の機会が増え、その結果、仲間意識は更に強固となり人間関係が良くなり各社の未来の経営安定に繋がっていくと信じています。